

[村 章]



制定：昭和41年2月

六ヶ所村の六の字を図案化したもので、上部には躍進発展を、下部の二本の線は、村民の協和を力強く表現しました。

[村の花]

ニッコウキスゲ



[ユリ科]

村内全域に見受けられるが、特に南部の湖沼群の周辺及び泊の焼山に群生している。

俗に「カンショウの花」「ピッピーの花」などと呼ばれ、村民に親しまれており6月上旬頃から他の花に先がけて山野に咲くオレンジ色の花は、実にすばらしいものである。

[村の鳥]

オジロワシ



[ワシタカ科]

村内の湖沼群や海岸の崖の近くなど高い木の上に巣をつくり、主として魚を食べている。天然記念物でもあり、渡り(冬鳥)をする。

大型の鳥で本村では冬によく見られ体は褐色をしているが尾はその名の通り白く、飛んでいる姿は雄大で優雅である。

[村の木]

黒 松



[マツ科]

村内の樹種としては最も多く植生し、昔から六ヶ所黒松として村民に親しまれている。赤松にくらべて、湖風や寒冷に耐えられる特性があり、明治28年頃から官林や防風林として植林され、村内のいたるところで見ることができる。



六ヶ所村民憲章

(昭和55年11月3日制定、平成17年11月3日改定)

わたしたちは、恵まれた自然とたゆみない努力を続けてきた祖先の心を受けつぎ、郷土がますます発展することを願い、産業と科学・文化が共栄する新しい郷土をめざし、力をあわせて実践するためここに村民憲章を定めます。

- 一 わたしたちは、太平洋のような広い心を持ち、
人間愛に満ちた村民になります。
- 一 わたしたちは、小川原湖のような大きな希望を持ち、
進んで協力する村民になります。
- 一 わたしたちは、貴宝山のような気高さをもち、
心身ともに健全な村民になります。
- 一 わたしたちは、老部川のような清い心を持ち、
親切で礼儀正しい村民になります。
- 一 わたしたちは、七鞍平のようなおおらかな心を持ち、
郷土を愛する村民になります。

写真：「マテ小屋」。現在、小川原湖の高瀬川に歴史的遺産として復元・修復されている。かつては、尾駮沼や鷹架沼にもあった。汽水湖である尾駮・鷹架沼へ産卵にやってきた春ニシンなどの漁が行われていた。